



奥 久明

## 新型コロナウイルス 感染症対策下での教育活動

**問** 登下校時のスクールバスの安全対策は。

**答** 乗車時の手指の消毒、マスクの着用、会話は控える、運行中の窓を開けての換気、運行後の消毒等、分散登校の時から対策を講じている。

**問** 教室内外での安全対策は。

**答** 体育やトイレ、給食等の活動ごとに手洗いや消毒を必ず行っている。

**問** マスク着用時の夏場の熱中症対策は。

**答** 冷房や空調の換気システムの使用、窓を開ける等、複合的に行っている等、複合的に考えていきたいと考える。

**問** コロナ禍での子どもの居場所づくりは。

**答** 教職員、福祉課職員等で見守りが続けてきた。感染上のことと考えながら各課と相談し今後

も考えていきたい。



**問** 学習の内容の確保への対策は。

**答** 過度な詰め込みにならないように配慮しながら児童生徒の実態に合わせて学習計画を立てていきたいと考える。

**問** 家庭における学習支援対策は。

**答** 学習プリントの送付、eライブラリの活用、授業動画の配信等に取り組んできた。インターネット環境がない家庭に

はDVDの貸与等の個別対応も行ってきた。

**問** 今後、オンライン授業に重点を置いて進めるのか。

**答** 教育の原点は子どもと教員との生の現場でのやり取りが基本と考えるがコロナ対策のため、オンライン授業に向けての準備も考えている。



## 一般質問



大平 喜代江

## 安心して暮らせる 能勢町の基盤をつくる

コロナ禍の今、求められるのはリーダーの感度の高さと住民に的確な情報発信、住民に寄り添った行政サービスを期待し質問する。

**問** 国、府からの情報等の町民への発信は。

**答** 国が示す行動規範や都道府県が講じる措置など、住民の皆様の身体や生命に関する内容の提供が、町の大きな役割であると認識し、その上で、住民の生活に密着した情報を正確にいち早く知らせるべく、様々な媒体を通じて情報発信に努めている。

**問** 本町対策本部の対応方針は。

**答** 本町対策本部は、①感染拡大の防止に向けた体制整備、②対策に必要な物資の確保や支給、③国や府、町の支援を必要な方にいち早く行き渡るよう努めた。

**問** 町内関係機関との連携体制は。

**答** 府はもとより社会福祉協議会や介護・福祉施設、医療機関との情報交換や必要な物資の提供なども行っている。

**問** コロナ禍による個人や事業主への給付、貸付、助成等の申請手続に対する事前相談窓口や支援について。

**答** ウェブによる申請が困難な方には、窓口で申請の受付や融資に必要な売上げ減少の証明書の即

日発効に努める等、対応している。



**問** 町長の活動日記にある新しい生活様式による役場機能の維持や事務事業の見直しとは。

**答** これまでの常識を常識とせず、新型コロナウイルス感染症と向き合っていないかなければならないと考えている。

